

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

兵庫県 加西市

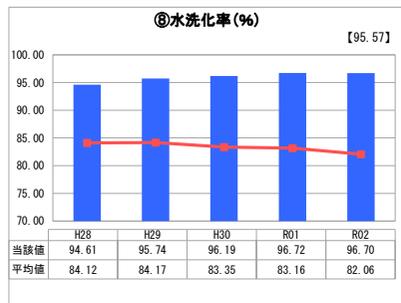
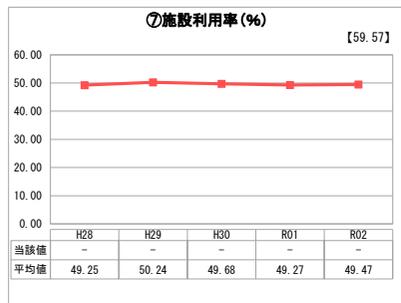
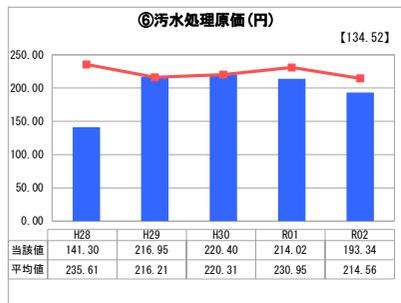
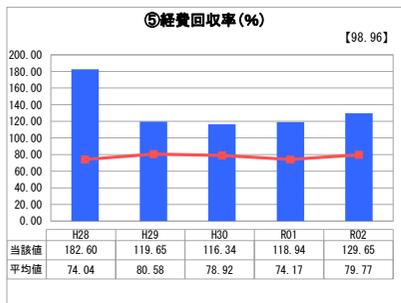
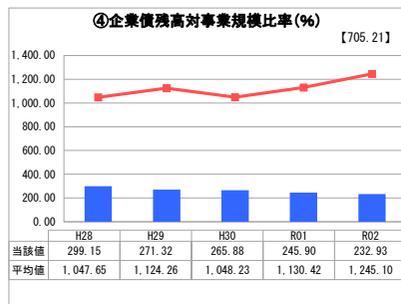
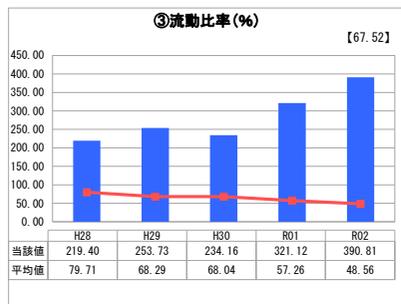
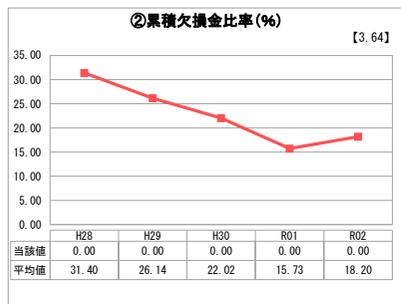
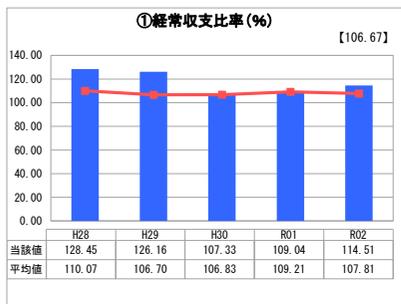
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	72.96	26.94	91.28	3,710

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
43,482	150.98	288.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
11,654	5.32	2,190.60

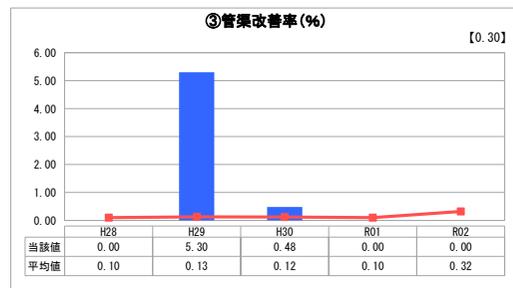
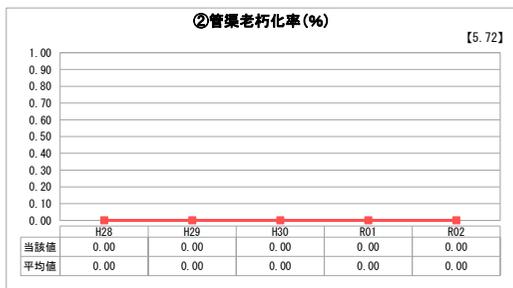
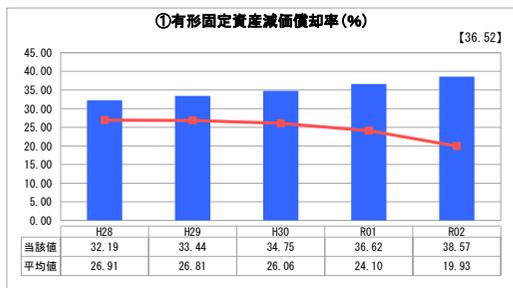
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は引き続き100%を上回っています。令和2年度は令和元年度に比べて使用料収入がやや増加した上に、減価償却費や支払利息等の減少による費用の減少もあり、数値がやや上昇しました。今後、人口減少による使用料収入の減少が予測されるため、引き続き経費の節減に努める必要があります。

② 累積欠損金比率は平成27年度決算において解消された以降、発生していません。

③ 流動比率は引き続き良好な状況を保っています。

④ 企業債残高対事業規模比率は類似団体比率を大きく下回っており、適正な数値となっています。

⑤ 経費回収率は100%を超えており、使用料で経費を賄っている状況であると言えます。

⑥ 汚水処理原価は令和元年度より更に数値の改善が見られ、類似団体平均を下回っています。

⑦ 当市には公共下水道の処理施設が無く、他市にある流域下水道の処理場に汚水を放流しているため、施設利用率は該当がありません。

⑧ 水洗化率については類似団体平均より高い水準ですが、今後も引き続き水洗化の促進に努めます。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均と比べると数値が高く、令和2年度末で38.57%となっています。よって、全体の残存価額は6割程度残っていることになります。

② 平成29年度・30年度に一部の地域において管更生工事を実施したため、当該年度は数値が高くなっています。

### 全体総括

当市の公共下水道事業については、ほとんどの指標において類似団体平均よりも数値が良く、全体的に概ね良い状況を保っているとと言えます。ただ、市の下水道事業全体としては、農業集落排水事業、コミュニティ・プラント事業の事業効率が悪く、非常に厳しい経営状況が続いています。今後、人口減少による使用料の減収等が予想される中、各事業共に、引き続き経費の節減と水洗化の促進等による使用料収入の確保に取り組み、効率的で持続可能な下水道経営に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

兵庫県 加西市

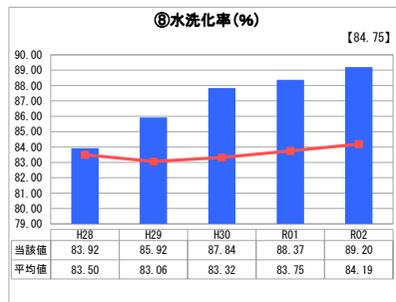
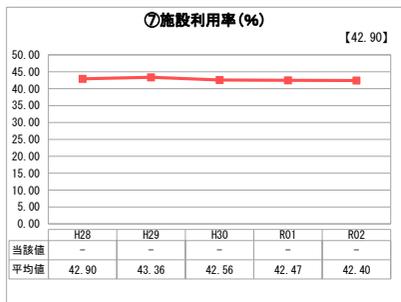
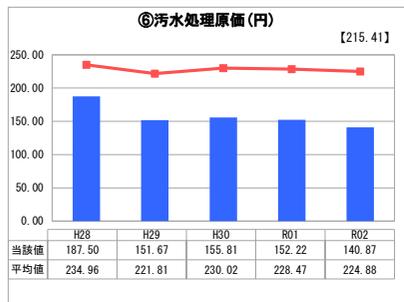
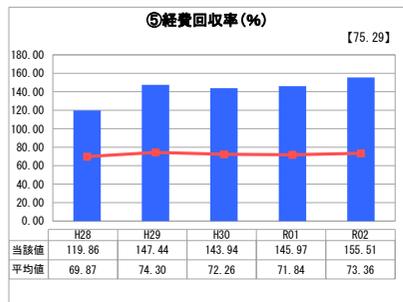
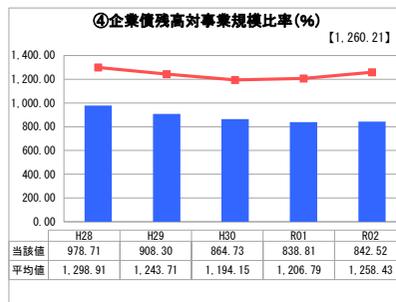
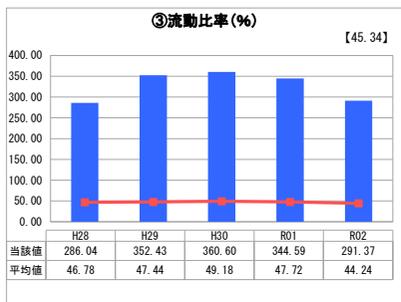
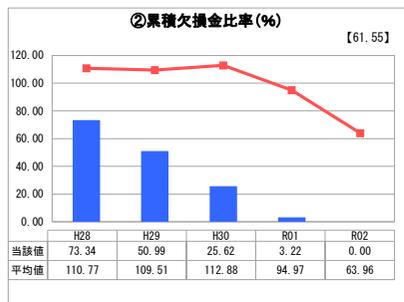
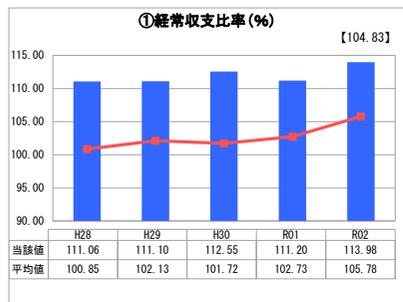
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	37.99	34.19	91.29	3,710

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
43,482	150.98	288.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
14,788	12.31	1,201.30

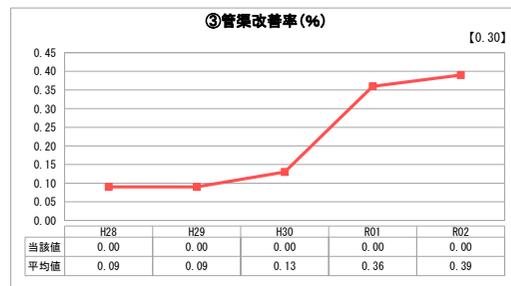
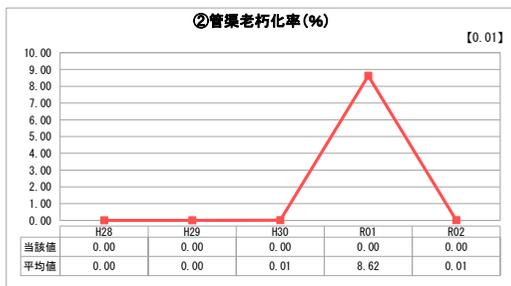
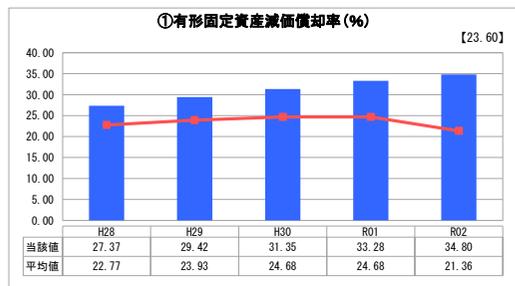
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を上回っており、経営状況は引き続き良好です。令和2年度は令和元年度に比べて使用料収入がやや増加した上に、費用も減少したため、数値がやや上昇しました。処理区域の統合事業により今後の収支は流動的ですが、人口減による使用料収入の減少や事業推進による費用の増加が見込まれるため、引き続き経費の節減に努める必要があります。

② 累積欠損金比率は近年黒字が続いているため、改善しています。

③ 流動比率は令和2年度は昨年度よりも減少したものの、引き続き良好な状況を保っています。

④ 企業債残高対事業規模比率は引き続き類似団体平均を下回っており、適正な数値となっています。

⑤ 経費回収率は100%を超えており、使用料で経費を賅っている状況であると言えます。

⑥ 汚水処理原価は令和元年度より更に数値の改善が見られ、類似団体平均を下回っています。

⑦ 当市には特定環境保全公共下水道の処理施設が無く、他市にある流域下水道の処理場を利用しているため、施設利用率は該当がありません。

⑧ 水洗化率については年々上昇し類似団体平均を上回っていますが、今後も引き続き水洗化の促進に努めます。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均と比べるとやや高く、令和2年度末で34.80%となっています。よって、全体の残存価額は7割程度残っていることになります。

② 管渠老朽化率は、管渠を比較的近年に整備したため、法定耐用年数を超えたものではありません。

### 全体総括

当市の特定環境保全公共下水道については、ほとんどの指標において類似団体平均よりも数値が良く、全体的に概ね良い状況を保っているとと言えます。

現在、農業集落排水処理施設及びコミュニティ・プラント施設との統合事業を実施しており、今後の経営状況は流動的になっていくことが予想されます。今後も引き続き経費の削減と水洗化の促進等による使用料収入の確保に取り組み、効率的で持続可能な下水道経営に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

兵庫県 加西市

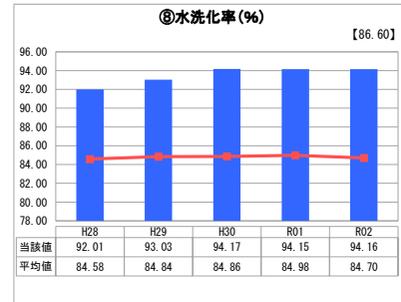
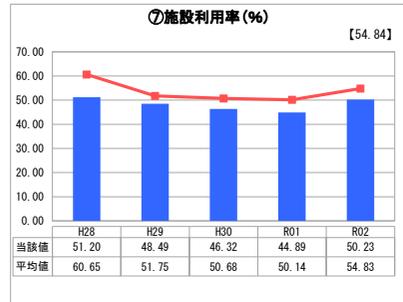
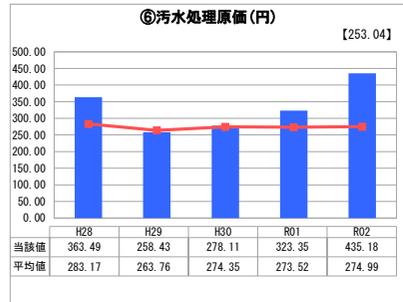
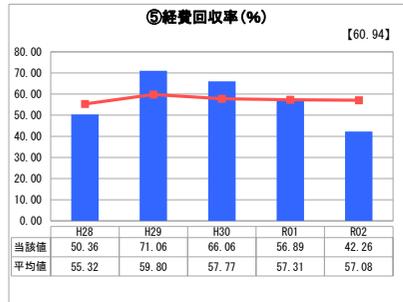
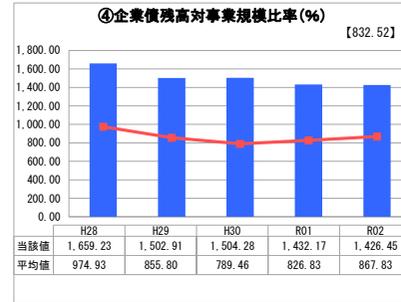
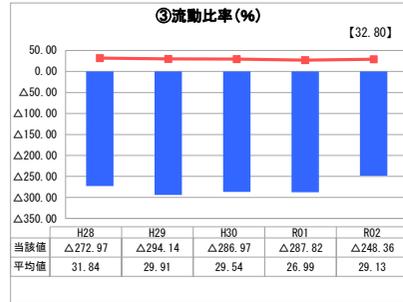
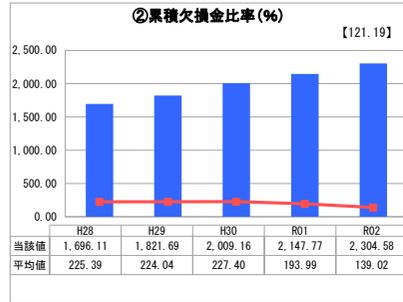
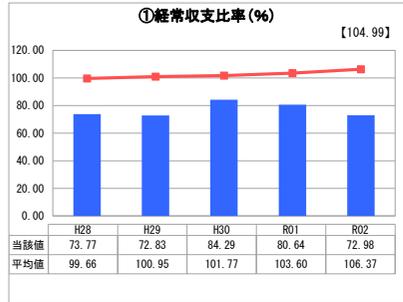
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	8.63	18.09	97.92	3,710

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
43,482	150.98	288.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,826	3.14	2,492.36

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は72.98%で類似団体平均を大きく下回っています。実施中の統廃合事業の影響等もあり、令和2年度は前年度に比べて収入が減少し費用が増加していることから、数値は悪化しています。

②累積欠損金比率は令和2年度も赤字決算のため前年度に比べ悪化しており、引き続き類似団体平均を大きく上回っています。

③流動比率は類似団体平均を大きく下回っています。ただ、公共下水道等を含めた下水道事業全体では、支払能力に問題はありませぬ。

④企業債残高対事業規模比率は類似団体平均を上回っています。当事業は汚水処理区域が広いため、処理施設数が多く管渠延長も長いことから、整備に多額の費用が必要となります。よって、その財源として多額の企業債を借入れたためです。

⑤⑥令和2年度は前年度に比べて費用が大きく増加し有収水量が減少しました。よって、前年度よりも経費回収率は減少・汚水処理原価は増加と、それぞれ数値は大きく悪化しています。

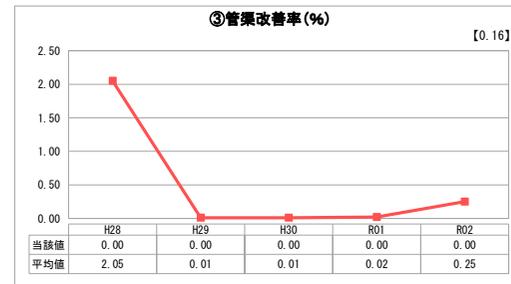
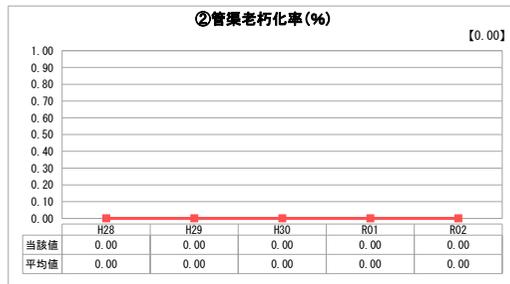
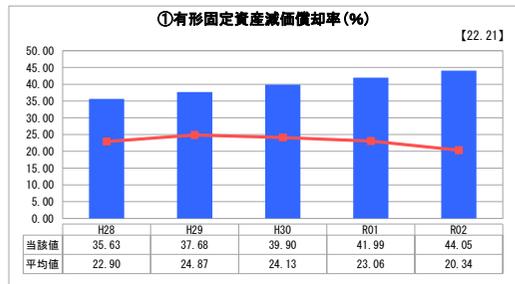
⑦施設利用率は、近年は40%台と低い数値で推移しています。令和2年度は昨年度から改善されたものの、汚水処理水量の減少により数値は類似団体平均を下回っています。

⑧水洗化率は90%を超えており、類似団体平均よりも高い数値となっています。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は令和2年度末で44.05%と、類似団体平均と比べると数値が高くなっています。原因としては、本市が比較的早い時期から農業集落排水事業に取り組んできたためです。

## 2. 老朽化の状況



### 全体総括

農業集落排水事業は、農村部にあたる地区の下水道事業です。広い処理区域に家屋が点在しているため、効率的な汚水処理が難しく、また20箇所近くの処理施設整備費用の財源として借り入れた起債の未償還残高が多いことから、各指標の数値はどれもあまり良くありません。

今後は、農村部における顕著な人口減少による使用料収入の影響に加えて、施設の老朽化による維持管理・更新費用についても懸念されます。

このため現在、特定環境保全公共下水道への統廃合事業を徐々に進めており、今後、農業集落排水事業のスリム化と経営の効率化を図ってまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。